

TEX 改造

i13302

令和2年2月6日

0.1 TeX について

TeX はスタンフォード大学教授 (数学)D.E.Knuth(19388～) による文書整形システムです [1].

0.2 URL 表示

url パッケージを導入しています. `https://google.com`.

0.3 ソースコード表示

指導教員にお願いして, 行番号に枠を入れました.

ソースコード 1: FORMURA の定義

```
1 #define FORMULA 0 // 途中経過を  
  表示
```

ソースコード 2: カラツバ法を実行 `bignum_kara()`

```
1 Bool bignum_kara(BigNum *b)  
2 {  
3     llint s = 1;  
4     if ((b->nsz) << 1) > NMX){  
5         return FALSE;  
6     } // 桁溢れ  
7  
8     while(s < b->nsz) { s = s  
9         <<1; }  
10    return bignum_sq2(b, s);  
11 }
```

0.4 令和対応

TeX Live が Ver 2017 なので, BXwareki パッケージ [2] にて, 対応しています.

1. “`\today`” → 平成 32 年 2 月 6 日
2. “`\warekitoday`” → 令和 2 年 2 月 6 日

0.5 参考文献

bibtex にて, “junsrt.bst” ファイルを改修しています.

1. “@misc” 表示の際に, url 前に改行
2. 日付は年のみ表示
3. “@bachelorthesis” にて, 学士論文に対応
4. “Master’s thesis” → “修士論文”

関連図書

- [1] “TeX 入門”.
<https://www.juen.ac.jp/math/nakagawa/texguide.html>. (Accessed on 2020/02/06).
- [2] “CTAN: Package bxwareki”.
<https://ctan.org/pkg/bxwareki>. (Accessed on 2020/02/06).